

## 第3回府中市新庁舎建設施工者選定委員会会議録（要旨）

開催日時 令和3年1月12日（火） 午前9時30分～午後5時

開催場所 府中市役所北庁舎3階第1・2会議室

出席委員 5名（50音順）

飯沼 健一委員、大槻 泰士委員、織田 淳委員、嘉納 成男委員、倉田 直道委員

欠席委員 なし

事務局ほか

新藤行政管理部長、前澤行政管理部次長、大沢新庁舎建設推進室長、高島新庁舎建設推進室長補佐、山崎新庁舎建設推進室主査、小川新庁舎建設推進室工事担当主査、小菅新庁舎建設推進室主査、長谷川新庁舎建設推進室技術職員、田中契約課長、菅野契約課工事契約係長、株式会社山下PMC（2名）

公開・非公開の別 非公開（施工者選定の審査に係る会議であるため）

議事日程

- 1 前回会議録の確認について
- 2 評価手順等について
  - (1) 評価の手順
  - (2) 本日のスケジュール
- 3 審議事項
  - (1) プレゼンテーション・ヒアリング
  - (2) 審査
- 4 答申書の作成について
- 5 選定結果報告書の作成等について
- 6 その他

配布資料

- 資料1 第2回府中市新庁舎建設施工者選定委員会会議録（案）
- 資料2 評価手順
- 資料3 本日のスケジュール
- 資料4 府中市新庁舎建設工事施工者の選定結果（答申）（案）
- 資料5 選定結果の公表
- 資料6 府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札（総合評価方式）選定結果報告書（案）

審査資料

- 資料1 採点表

- 資料 2 採点集計表
- 資料 3 府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札(総合評価方式)施工者募集要項
- 資料 4 府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札(総合評価方式)様式集
- 資料 5 技術提案書(様式 1 2 ~ 1 7)
- 資料 6 参考図面

## 会議録

### 【事務局】

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。今回の選定委員会では、事業者による技術提案等の提出書類についてのプレゼンテーション、事業者へのヒアリングを実施するとともに、選定委員会の選定結果報告書等についてご確認いただきたいと思います。

そして、本日の審議を受けまして、施工者の選定の手続に進ませていただきたいと思いますと考えております。長時間の審議となりますが、どうぞよろしく申し上げます。

はじめに事前に送付させていただいております資料の確認をさせていただきます。まず、A 4 ファイルの委員会の配布資料をお願いします。

次第の次に、資料 1 といたしまして「第 2 回府中市新庁舎建設施工者選定委員会会議録(案)」

資料 2 といたしまして「評価手順」

資料 3 といたしまして「本日のスケジュール」

資料 4 といたしまして「府中市新庁舎建設工事施工者の選定結果(答申)(案)」

資料 5 といたしまして「選定結果の公表」

資料 6 といたしまして「府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札(総合評価方式)選定結果報告書(案)」となっております。

また、配布資料に加えまして、もう一冊の A 4 ファイルの資料をお願いします。

資料 1 といたしまして各社の「採点表」

資料 2 といたしまして「採点集計表」

資料 3 といたしまして「府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札(総合評価方式)施工者募集要項」

資料 4 といたしまして「府中市新庁舎建設工事条件付一般競争入札(総合評価方式)様式集」となっております。

続きまして、A 3 ファイルの資料をお願いします。

資料 5 といたしまして各社の「技術提案書(様式 1 2 ~ 1 7)」

資料 6 といたしまして「参考図面」となっております。

以上になりますが、すべて揃っておりますでしょうか。

もし、お忘れの場合、予備がございますので、事務局までお声掛けください。

次に、本日の会議の開催の可否でございますが、委員 5 名のうち、5 名が出席し、定足数に達しておりますので、本日の会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。

なお、記録のため音声の録音と写真を撮らせていただきますのであらかじめご了承ください。

ださい。それでは委員長、会議の議事進行についてよろしくお願いいたします。

**【委員長】**

それでは、ただ今から「第3回府中市新庁舎建設施工者選定委員会」を開催いたします。委員の皆様におかれましては年末年始のお忙しい中、事前に採点を行っていただいたかと思いますが、本日のプレゼンテーション・ヒアリングの内容等を踏まえ、必要に応じて、事前に行った採点の修正を行っていただければと思います。

本日の会議次第に沿って進めていきます。はじめに「議題1 前回会議録の確認について」事務局より説明願います。

**【事務局】**

資料1「第2回府中市新庁舎建設施工者選定委員会会議録(案)」をお願いいたします。前回の委員会の議事録については、案として委員の皆様事前に確認をお願いしていたところですが、お気づきの点や修正点がございましたらご指摘くださいますようお願いいたします。

なお、こちらの会議録は、市ホームページのほか、市役所3階市政情報公開室、中央図書館等で公開を予定しております。

以上でございます。

**【委員長】**

事務局より、各委員に対して事前に「第2回府中市新庁舎建設施工者選定委員会会議録(案)」について確認依頼があったと思いますが、修正事項等がありますでしょうか。

(意見なし)

それでは、前回の会議録について、原案のとおりとさせていただきます。

続きまして、「議題2」に移りたいと思います。「議題2 評価手順等について」、事務局から説明をお願いいたします。

(\*事務局より資料説明)

**【委員長】**

ただいま事務局から説明がありました議題2の「評価手順等について」、ご質問等がありましたらお願いします。

(意見なし)

特に意見はないようですので、本日は事務局の説明のとおり、評価を実施したいと思います。

プレゼンテーションの開始まで時間がありますが、事務局から補足説明等ありますでしょうか。

**【事務局】**

プレゼンテーションの開始時刻まで時間がありますので、A社の準備が整い次第、入室させ、プレゼンテーションの準備を行いますので、少々お待ちください。

( A社：入室・準備 )

**【事務局】**

それでは、準備が整いましたので、A社のプレゼンテーションを行います。

はじめに、プレゼンテーションの進め方についてご説明いたします。

提案者は、配置技術者としての担当及び氏名を名乗った後、ご提出いただいている技術提案書の説明を行ってください。

なお、会社名及びそれらを推測させる言動については、発言することがないように十分に慎んでいただくようお願いします。

説明は20分以内です。残り時間の目安として、残り5分、1分のタイミングでこちらでベルを鳴らしますので、ご承知おき下さい。その後、説明に続いて20分の質疑応答の時間といたします。時間の関係もごさいますので、委員からの質問に対して、簡潔・明瞭にご回答ください。それでは、説明をお願いいたします。

( \* A社説明 )

**【事務局】**

続きまして、質疑応答に移ります。委員の方々の中で、質問のある方はお願いいたします。

**【委員】**

提案書1ページ目について質問です。プロジェクトマネージャーはどのような業務に従事するのでしょうか。また、現場に常駐はされますか。

**【A社】**

プロジェクトマネージャーは現場には常駐いたしません。特に重要である工期・安全等に関する発注者との交渉に携わり、営業部門と現場とで一体になってプロジェクトをまとめる位置づけを担います。

**【委員】**

プロジェクトマネージャーは他の現場も抱えているということでしょうか。

**【A社】**

受注状況にもよりますが、他の現場を担当する可能性はあります。

**【委員】**

ありがとうございました。

**【委員】**

西庁舎南側に仮設事務所を設置する旨の説明がありましたが、発注者との協議により、

この場所への設置が難しい場合、工期の短縮に影響はありますか。

【A社】

西庁舎南側に仮設事務所を設置することで、北東の作業ヤードを確保する説明をさせていただきますましたが、タワークレーンの設置台数を減らすことで工期の短縮を図っておりますので、この場所への仮設事務所の設置が難しい場合、設置場所の変更が必要となり、工期の短縮に影響することが考えられます。

【委員】

この件はわかりました。次の質問です。

品質管理において、コンクリートの品質がプラントやその日のコンクリート性状によって大きく異なるとの記載がありますが、そもそもコンクリートの品質が日ごとに大きく変わることはあるのでしょうか。また、品質のばらつきをどのように判断し、専用のホッパーの選定をするのでしょうか。

【A社】

コンクリートの品質に関してですが、主に骨材の表面積、水量の管理をプラントで行いますが、プラントの実績に左右されるため言及させていただきました。

ホッパーの選定についてですが、コンクリートの受け入れ時に行うフレッシュ検査においてスランプフロー試験を行い、コンクリートの流動性に合わせて排出口の異なるホッパーを使い分けます。

【委員】

納入されるコンクリートの品質は決まっています、スランプフロー試験の規定値はあると思いますが、あくまでもホッパーは規定値の中で使い分けているということでしょうか。

【A社】

おっしゃるとおりです。スランプフロー試験には規定値がありますが、50センチフロータイムには規定値がないため、時間に注目しホッパーの種類を使い分けております。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

業務推進体制についてお伺いします。コストマネジメント会議や別途工事の調整会議以外に、発注者や設計者との調整の場はどのように設けられるのでしょうか。

【A社】

今後の運用方法になりますが、月1回の定例会議において設計者を含めた会議を想定しておりますが、開催回数については調整させていただきたいと考えております。

【委員】

今の質問に関連することですが、現場代理人に色々な業務が一元化されていますが、この規模の工事になると現場代理人への負担が大きいと考えられます。現場代理人を補助するような総合的な調整を行う機能を設けるのでしょうか。

【A社】

補佐として現場代理人の部下を1名配置する予定です。

【委員】

現場代理人のこれまでの業務実績を見ますと、行政が発注者の工事には従事された経験がないようですが、行政が発注者であることを踏まえ、配慮すべきと考える点はありますでしょうか。

【A社】

工事については設計図どおりに施工するというのを基本としつつ、市役所機能を維持したままの工事となりますので、来庁者に十分配慮しながら施工したいと思います。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

ベースプレート部分のコンクリート打設についての質問がありましたが、それ以外の躯体のコンクリートを打設する上で、注意すべき点は何でしょうか。特に今回は1階フロアの躯体面積が大きく柱頭免震構造を採用しているため、精度の確保についてはどのように考えていますか。

【A社】

コンクリートについては打放し部分が多くあるので、スペーサーについては標準的なドーナツ型ではなく星型を使用することでコンクリートの流動性を高めており、ジャンカの発生を防ぎます。

また、全自動のミスト散水機を設置し、閉所日でも散水養生を行えるよう設備を整えらるとともに、当社独自技術の螺旋形のパイプレーターを使用いたします。

コンクリートの打設については特に重要であると考え、新たな技術を用いることを予定しております。

その他、柱頭部のコンクリートの打設については、沈降が発生しないように打ち分けを行うなど配慮をしていきます。

【委員】

自動散水システムは使用実績があるということでしょうか。

【A社】

私自身の使用実績はありませんが、当社としての実績はございます。

【委員】

わかりました。次の質問です。

現西庁舎南側の駐車場上部に仮設事務所を設置するということでしたが、市との協議が整い仮設事務所を設置した場合、作業員や現場の労働者の動線はどうなりますでしょうか。

【A社】

庁舎の外側を回って仮設事務所に入る動線を想定しています。おもや工事期間中は庁舎外側の道路を通行することはやむを得ないと考えております。

【委員】

作業員は外側の道路を通り、南側の仮設事務所に入るということですね。

【A社】

はい。

【委員】

わかりました。次に7ページ目になりますが、解体工事以降は北側道路からの搬入はないということによろしいですか。

【A社】

北側ゲートを使用するのは1期工事のみの予定です。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

置き構台を使用されるとのことですが、どの部分に使用されるのでしょうか。

【A社】

おもやとははなれの間エル型の置き構台を設置いたします。そして、タワークレーンを廃止して、ラフタークレーンを使用して地上躯体工事を行います。

【委員長】

ポインターで設置位置を示してください。

はなれは全面に置き構台を設置するということによろしいですか。

【A社】

(ポインターで指しながら)置き構台は、こちらのおもやとははなれの間に設置します。

【委員長】

わかりました。

他にご質問はありますか。

(質問なし)

特に無いようですので、事務局お願いします。

**【事務局】**

それではこれでA社によるプレゼンテーションを終了いたします。提案者の皆様、ありがとうございました。

(A社・退出)

それでは、委員の皆様にはA社の「採点」をお願いします。約10分後にプレゼンテーションの準備のためB社を入室させ、B社が準備を終えた後、プレゼンテーションを開始いたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、「入替・準備」の間は会場扉・窓を一時的に開放し、換気をさせていただきますのでご了承ください。

(B社：入室・準備)

**【事務局】**

準備が整いましたので、B社のプレゼンテーションを行います。  
それでは、説明をお願いいたします。

(\* B社説明)

**【事務局】**

続きまして、質疑応答に移ります。委員の方々の中で、質問のある方はお願いいたします。

**【委員】**

環境に配慮した段ボールダクトの採用についてご提案いただいておりますが、イニシャルコストやランニングコスト、耐久性はどの程度でしょうか。

**【B社】**

段ボールダクトのイニシャルコストとランニングコストについては既存のダクトと比較しても変わりません。耐久性については、既に使用している建物もあり問題ないものと認識しております。

**【B社】**

補足させていただきますと、市庁舎での採用実績もございます。災害時において落下した場合でも、通常のものと比較すると軽量なため、安全性が高いことから採用しております。

**【委員】**

ありがとうございます。次に、「公衆災害対策・騒音対策・環境対策」についてですが、府中本町駅からの主要歩行者動線とその動線に対する配慮について記載がありますが、一方で府中駅からの歩行者動線についてはどのように考えておりますでしょうか。

【B社】

府中駅からの歩行者動線についてですが、朝は多くの通勤者の通行が多いと認識しております。本事業への通勤者については最大380名を予定しているため、大通りを通行することを想定しております。

【委員】

市庁舎の建設工事への通勤者ではなく、現時点での府中駅からの歩行者動線についての考えをお聞かせください。

【B社】

おもやとはなれの工事時期によって、市庁舎へアクセスする動線が異なってくることから、工事現場の仮囲い周りに歩行者誘導のためのデジタルサイネージを設置するとともに、ガードマンを配置する計画としております。

【委員】

提案書の現状把握の記載について、府中街道の無信号の交差点について言及されておりますが、旧甲州街道沿いにも無信号の交差点があります。府中街道沿いだけでなく旧甲州街道沿いへの配慮・意識についてはどうお考えですか。

【B社】

ご指摘いただきました旧甲州街道沿いの交差点につきましては誘導員を配置し、第三者と工事車両との接触防止策を講じる予定です。

【委員】

ありがとうございます。

【委員】

プレキャスト工法を採用すると一般的に工事費が増加すると思われませんが、工事費については大丈夫でしょうか。

【B社】

コストは問題ないと考え入札させていただいております。プレキャストにすることにより材料の製造費は増加しますが、現場での仮設費等は大きく削減されるため、増加分との相殺によりコストは大きく変動しないと検証・判断しております。

【委員】

工事費の増減はそもそも提案される金額の中に含まれているということによろしいですか。

【B社】

その通りです。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

先ほどのプレキャストの件で、小梁・大梁それぞれの梁型枠工事について、集約化・工業化の比率について教えて下さい。

【B社】

小梁については約8割、大梁のユニット化につきましては約6割を計画しております。

【委員長】

わかりました。

他にご質問はございますでしょうか。

【委員】

私からは、業務推進体制についてお伺いします。今回は地元企業とJVで参加されておりますが、JVを組んだ地元企業とはどのような役割分担を予定しておりますでしょうか。

また、地元企業とJVを組むことのメリットはどのような点にあるとお考えでしょうか。

【B社】

役割分担については、JV構成企業と一体となって作業所の運営を行っていく予定です。

メリットにつきましては、地元独自のルールや関係性、建設地周辺への配慮などについてアドバイスを受けながら事業を進められる点や、資機材・人材の調達についても地元である利点を活かし、地元の人材に当該事業に携わっていただくことができる点にあると考えます。

【委員】

今回は非常に長期にわたる工事となりますので、近隣対応について特に注意を払うべきと考える点についてお話しください。

【B社】

近隣への配慮についてですが、計画地周辺はマンションや戸建住宅が隣接している住宅地であると認識しております。近隣住民の意見や要望をお伺いし、適切に対応できるよう努めていくことが重要であると考えております。

【B社】

一点補足させていただきます。近隣への配慮については、公衆災害ゼロを前提として、第三者の安全確保を第一に考えたいと思います。また、併せて近隣への迷惑が掛からな

いよう最大限努力するというところでございます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

免震構造についてですが、はなれのPCは上階の躯体が立ち上がる前に緊張して、おもやの1階の梁と一体化するとのことですが、同様の工事実績があるのでしょうか。

また、オイルダンパーの配置調整について、特許出願中との記載がありますが、これまでの工事実績も踏まえ、どの程度信頼性があるものなのか教えてください。

【B社】

同様の工事実績についてはございません。特許の出願については、着工には至っておりませんが、過去に同様の事例があり、その際の課題に対する解決策として社内で検証した結果、解決策として有効であると判断いたしました。先進的なアイデアであったため出願をしたところでございます。

【委員】

ありがとうございます。非常に先進的な考え方かと思しますので、十分に注意して実施いただければと思います。

もう少し質問します。段ボールダクト等の提案については設計変更になるのでしょうか。

【B社】

技術提案となりますので、ご了承いただければ設計変更になるものと考えております。なお、費用に関しては提案額に含まれておりますので追加費用は発生いたしません。

【委員】

市内企業の活用額についてですが、市内企業がJVの構成員に含まれておりますが、市内企業への発注額には構成員への分担額は含まれていないということによろしいですか。

【B社】

含まれておりません。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

工期の短縮について提案がありましたが、全ての工期は指定通りに終了しているようですが、工期短縮の効果について発注者に還元されるメリットはあるのでしょうか。

【B社】

今回は長期にわたる工事で敷地の制約条件もあることから、通常の手法では工期を間に合わせる事が難しいという状況でございました。コストと工期のバランスを突き詰めた結果、ご要望いただいた工期に間に合わせた提案をさせていただきました。

しかし一方では、解体工事については埋蔵文化財発掘調査との調整によっては、短縮ができる余地はありと考へております。

【委員長】

わかりました。次の質問です。コンクリートに使用する養生用のビニールフィルムについてですが、全体の何パーセントに対し養生を行うのでしょうか。

【B社】

1階から上のフロアについては、9割を養生いたします。

【委員長】

地上部分の9割はビニールシートで養生するということですか。

【B社】

はい。打設初期につままして養生を行います。

【委員長】

わかりました。

他に質問はありますか。

(質問なし)

特に無いようですので、事務局お願いします。

【事務局】

それでは、B社によるプレゼンテーションを終了いたします。提案者の皆様、ありがとうございました。

(B社・退出)

それでは、10分程度採点の時間を設けます。ヒアリングの結果を受け、採点をお願いいたします。午後は13時10分からC社のプレゼンテーションを開始いたしますので、5分前には会場にお戻りください。

(昼食休憩・準備)

(C社：入室・準備)

【事務局】

時間となりましたので、C社のプレゼンテーションを行います。

それでは、説明をお願いいたします。

( \* C社説明 )

**【事務局】**

続きまして、質疑応答に移ります。委員の方々の中で、質問のある方はお願いいたします。

**【委員長】**

北側道路についてセットバックする記載がありますが、車両が通行する予定ですか。

**【C社】**

北側道路については限定的に使用させていただきます。府中街道沿いのゲートをメインに車両の出入りをさせていただきたいと考えております。

**【委員長】**

北側の道路は狭いのでセットバックして仮囲いをするということですか。

**【C社】**

敷地の北、市道側の仮囲いを数メートルセットバックし、道路を拡幅します。あくまでも、工事のメインゲートは府中街道沿いとなりますが、工事資材の搬入などのやむを得ない場合に使用するとともに、歩行者の動線を確保するものです。

**【委員長】**

わかりました。

仮囲いによる騒音対策について提案がありましたが、騒音対策は全ての仮囲いに行いますか。

**【C社】**

仮囲いは3メートルのフラットパネルを採用し、騒音対策として仮囲いの上に1.8メートルの防音シートを設置いたします。

ただし、台風などの強風時は一時的に外すとともに、通期で設置するのではなく騒音が発生する工事の期間に設置することを想定しています。

**【委員長】**

設置箇所は全面と考えてよろしいですか。

**【C社】**

ほぼ全面になります。

**【委員長】**

わかりました。

他に質問はありますか。

【委員】

おもや工事と解体工事の際に行う山留のオープンカット化は、具体的にどのように実施していくのか教えてください。

また、地下の解体時に地盤面を参考図書より1.5メートル浅くしていますが、どのように解体工事を進めていくのか教えてください。

【C社】

山留のオープンカット化につきましては、全面をオープンカットするのではなく、掘削範囲の上部半分を45度程度にオープンカットして山留を行い、自立可能な山留の範囲を増やしています。

地下解体工事につきましては、地盤面を浅くすることで全体の埋め戻しを減らすとともに、作業する地盤を上げます。全体を一番底まで掘るのではなく、部分的に掘削し解体を行う計画としております。

【委員】

オープンカットといっても全面ではなく、山留の高さを減らすためのものという意味ですか。

【C社】

はい、そうです。

【委員】

解体工事を4ヶ月短縮しておりますが、実現性の担保についてお聞かせください。また、短縮ができなかった場合、後半の3ヶ月の短縮ができなくなると思いますが、その際のおもやの外構工事はどのように行いますか。

【C社】

解体工事については、解体の専門部署や解体業者と相談の上、ご提案させていただいた工期で実現可能と考えております。しかし、短縮ができなかった場合は通り庭を通行できる計画とし、最後の3ヶ月で外構工事を行います。その際の歩行者動線には配慮したうえで工事を行います。

【委員】

ありがとうございました。

【委員】

今回の工期は長期にわたることや2期に分かれていることもあり、歩行者の安全確保は非常に重要であると言えます。敷地の北側をセットバックするとの提案がありましたが、1期工事において北側道路の歩行者は非常に少なく、現庁舎に来庁される歩行者動線は府中駅と府中本町駅からの動線に限られていますので、北側道路をセットバックする効果はないように思えます。

歩行者の安全確保の検討に当たり、現状の歩行者、来庁者の動線と交通量は把握したうえで提案をされていますでしょうか。歩行者、来庁者に対しての安全対策について説明をお願いします。

【C社】

歩行者の調査は行っておりません。現地確認で歩行者が少ないことは把握していましたが、北側道路は1車線で狭いため、工事車両による資材搬入等を考えると工事車両の動線の確保のためセットバックの提案を行いました。また、通行する工事車両の台数は少ないため、通行時以外は歩行者動線として活用いただくことを想定しています。

【委員】

2期工事において、3ヶ月前倒しではなれを完成させ、通り庭が利用できるとのことですが、3ヶ月前倒しで通り庭が利用できることは利用者にとってどういったメリットがあるのでしょうか。

【C社】

おもや外構工事エリアへの出入りを制限し、通り庭側の出入り口を案内することにより、来庁者の安全を確保することができます。

【委員】

通り庭の外構はおもやの外構工事の際には完成しているということですか。

【C社】

はい。そのとおりです。

【委員】

わかりました。

【委員】

優先的に市内企業を下請けに採用すると記載がありますが、今までに御社と契約実績がない企業については品質への不安等もあるかと思われませんが、どのように採用可否について判断をされるのでしょうか。

【C社】

府中市内の企業とは、個別に積算を含めた会話をし、企業情報を調べながら各社の企業レベルを判断しております。また、採用予定の企業については、JV構成会社とともに判断をした結果として積み上げを行ったものです。

【委員】

企業レベルにより判断しているとのことでしたが、具体的に企業レベルはどのように測るのでしょうか。実際に工事を発注した後、施工のレベルが低かった場合にはどのような対応を取られるのでしょうか。

【C社】

調達部において書類等で会社状況を確認し、審査を行います。また、安全や品質といった履行能力についてはヒアリングや施工状況を見て判断します。しかし、求める施工レベルに達していないと判断した場合にはお断りすることも想定されます。

【委員】

お断りの判断をするのは調達部になるのでしょうか、それとも作業所での判断になるのでしょうか。

【C社】

調達部と作業所で連携し判断いたします。

【委員】

わかりました。ありがとうございました。

【委員】

旧給食センターを鉄筋の加工場として使用することでしたが、他の用途で使用する想定はありますか。騒音はどの程度発生すると見込んでいますか。

【C社】

用途といたしましては、鉄筋の加工が有効であると考えております。また、余剰の仮設資材のストックヤードとして使用させていただきたいと思っております。

騒音については、車両のエンジン音程度を見込んでおり、騒音や振動による近隣住民からの苦情はないと想定しております。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

他にご質問はありますでしょうか。

(質問なし)

特に無いようですので、事務局お願いします。

【事務局】

それでは、C社によるプレゼンテーションを終了いたします。提案者の皆様、ありがとうございました。

(C社・退出)

それでは、委員の皆様にはC社の「採点」をお願いします。

なお、約10分後にプレゼンテーションの準備のためD社を入室させ、D社が準備を

終えた後、プレゼンテーションを開始いたします。

( D社 : 入室・準備 )

**【事務局】**

時間となりましたので、D社のプレゼンテーションを行います。  
それでは、説明をお願いいたします。

( \* D社説明 )

**【事務局】**

続きまして、質疑応答に移ります。委員の方々の中で、質問のある方はお願いいたします。

**【委員】**

統括所長は現場に常駐・専任という理解でよろしいですか。統括所長の役割についてはどのように規定されているのでしょうか。

**【D社】**

常駐・専任です。大規模な工事の場合、現場代理人と監理技術者が現場の安全管理や品質管理をメインに行い、その他の発注者との対応、市民対応、別途工事業者との対応を統括所長が行います。

**【委員】**

現場代理人や監理技術者の役割は建設業法や契約書等に記載されますが、統括所長については特に規定するものはなく、いまおっしゃられたような役割を担うということですか。

**【D社】**

はい。

**【委員】**

わかりました。

次に、3ページの1階床梁についてですが、隣接する工区のコンクリートを連続して打ち込まないとのことですが、乾燥収縮による免震装置の水平変形を防ぐために何日置きに打設する想定ですか。

**【D社】**

3日から5日空ける想定をしています。

**【委員】**

3日から5日空ければ、乾燥収縮による水平変形は防げるということですか。

【D社】

はい。

【委員】

おもやの1階は6工区に分けているので、工区ごとに3日から5日空けると打設完了までに1ヶ月はかかるということですか。

【D社】

隣り合わせになる工区では3日から5日空けて打設を行いますが、隣り合わせではない工区については1日空けて打設を行うので、1ヶ月はかからないと思います。

【委員】

わかりました。

【委員】

業務推進体制について統括所長を設置するとのことですが、御社にとって比較的一般的な体制なのでしょう。

【D社】

すべての現場に該当するわけではありませんが、一般的な体制です。

【委員】

わかりました。続きまして7ページの「公衆災害対策」についてです。交通量調査結果の図において工事車両動線が赤い矢印で示されておりますが、5ページにおいて示されている工事車両動線の矢印と比較して、位置と矢印の数が異なっておりますのでご説明願います。

【D社】

7ページの図の動線については全てを一度に使用するのではなく、各フェーズで使用することを想定しております。

おもや工事の際は府中街道側の北西の動線を使用し、解体時は府中街道側南西の2か所のゲートを使用する予定です。また、その他南側の動線や、東側の2か所のゲートについては一時的な使用を想定しています。北庁舎駐車場の動線については、移転の際の荷捌きヤードとして職員の方に利用していただき、北側の動線は小物物資の搬入の動線となります。

発注者から提供いただいた図面を参考に、ご提案をさせていただきましたが、工事着手後に動線の使用可否については調整させていただきたいと考えております。

【委員】

わかりました。「道路Bは終日歩行者が多い」とありますが、道路Cのことでしょうか。

【D社】

道路Cです。

【委員】

わかりました。次に道路Cについてですが、緑の矢印で工事車両の動線について記載がありますが、計画地東側の道路である道路Cを通過して、旧甲州街道に出ていく工事車両動線になるということでしょうか。

【D社】

いいえ。解体工事の際には埋蔵文化財発掘調査も併せて予定していることから、工事車両は道路Bと道路Cを通行する場合がございます。その際に緑色の矢印で表現した工事車両動線を通行します。現状では道路Cから旧甲州街道へ通行する予定はありません。

【委員】

道路Cから続く旧甲州街道に抜ける道路と計画地北側道路は工事車両の通行はないということでしょうか。

【D社】

基本的に通行する予定はございませんが、工事の状況によっては通行をさせていただく可能性もございます。その際には、発注者と調整のうえ通行をさせていただきたいと思います。

【委員】

わかりました。市役所への来庁者は、道路Cを通行する場合がございますので、府中駅からの歩行者動線の考え方についてご説明願います。

【D社】

工事車両は府中街道に面したゲートを使用し、搬出入を行います。入場した工事車両は左折退場いたします。解体時には道路B、道路Cを一時的に通行しますが、基本的には道路Cは通行いたしませんので、歩行者動線への影響は少ないと考えます。

【委員】

わかりました。

【委員】

統括所長についてですが、1期工事終了後に別の職員と交代する提案がありましたが、継続性を持たせるより、現場をリフレッシュさせることの方がメリットがあるので交代するというのでしょうか。交代しない方が良いのではないかと思います。

【D社】

6年間という長い工事になるので、工期途中で統括所長を交代し現場をリフレッシュさせることの方がメリットがあると考えております。

【委員】

発注者の要望があれば工期終了まで交代しないことも可能ということでしょうか。

【D社】

はい。

【委員】

解体工事についてですが、ブレーカーは一切使わないということによろしいでしょうか。

【D社】

はい。

【委員】

体制図に設計者が記載されておりませんが、工事監理者に含まれているという理解でよろしいでしょうか。

【D社】

おっしゃるとおりです。

【委員長】

そろそろ時間となりますので、終了いたします。  
事務局、お願いします。

【事務局】

それでは、D社によるプレゼンテーションを終了いたします。提案者の皆様、ありがとうございました。

(D社・退出)

それでは、約10分程度採点の時間を設けますので、D社の採点をお願いします。採点が終わった方は事務局にて採点表の集計を行いますので、採点表を事務局にお渡しください。15時まで休憩と事務局の集計となります。

(休憩・事務局集計)

【事務局】

それでは時間となりましたので、審議事項「(2)審査について」に移らせていただきます。

(\*事務局より資料説明)

それでは、各委員から各評価項目について評価のポイントを説明していただいた後、質疑等を行っていただきます。

それでは、委員長、お願いいたします。

**【委員長】**

長時間にわたりお疲れ様でした。

それでは、事務局から配布された採点集計表に基づき、各委員の採点について概要をご説明いただき、意見交換等を経て、必要に応じてご自身の採点を修正していただきます。

そして、再度事務局で採点集計表を作成し、その集計結果が委員会としての採点の最終結果となります。

説明の順番は決めておりませんので、どなたかから感想や採点の際のポイントについてご説明いただければと思います。

**【委員】**

わかりました。

私としては、免震等の構造については、何が課題であって、どのように解決するかをしっかりと説明しているかどうかを中心に審査を行いました。

また、他のプロジェクトである設計者・事業者選定に携わり、工事に関しても発注者側のアドバイザーとして総合定例会議などを通じて関わってきた経験から、発注者や設計者、実際に作業をする職員と円滑なコミュニケーションがとれるかどうか非常に大事な点であると考えております。

特に今回は用途が「庁舎」ということもあり、執務をしながら工事をするということになるので、多くの課題が発生することが想定されます。

発注者及び設計者から出てくる課題に対して、うまく調整が行える体制かどうかは非常に大切なポイントであったことから、「業務推進体制」は関心をもって審査させていただきました。

まず、「公衆災害対策・騒音対策・環境対策」については、各参加事業者がおそらく大手ゼネコンということもあり、満遍なく配慮されていると感じました。

また、現地の交通・歩行者の動線等や歩行者の安全対策に関して、どの程度把握した上で提案しているのかは気になったところでした。

次に、「地域との協働、地域経済活性化への貢献」については、各社、思いつくものを網羅して記載しており、比較することは難しいと感じました。各社取り組めることは全て記載しているという印象を受けました。

しかし、その中で、D社については、「公衆災害対策・騒音対策・環境対策」において、生態系の基礎調査やCO<sub>2</sub>の削減といった提案をしており、詳細なデータを用いて説明している個所については、企業の姿勢が表れており、これからの企業はこのような心配りをしていく必要があると感じました。

また、特に注意して評価したポイントは「業務推進体制」についてです。具体的には、

A社については、現場代理人に一元化されているという点についてはわかりやすいのですが、バックアップ体制についての記載がありませんでした。

一方でB社については、総合調整室が設けられ、バックアップ体制が整っている点は評価に値するのではないかと思います。

理由に関しては先ほども申し上げたとおり、長期にわたり、市役所の業務を行いながら工事を行うことを考えると、複数の課題が出てくる中での調整等の役割は非常に大きいので、課題に対応ができる体制が想定されている提案については評価してよいのではないかと感じました。

例えば、A社や他の事業者にも言えることですが、本社のバックアップ、支援を受けることができる点を強調されていますが、その分現場での体制が弱いのではないかという印象も受けました。特にその点を強調している事業者にはその懸念を強く感じました。

公共施設等の工事の経験がない現場代理人もいるので、発注者が行政の場合、行政との対応に慣れているかどうかは重要なポイントであると思います。

「工物品質確保」・「工程管理」については、免震性能の発揮、施工方法については、何が課題で、それに対してどのように対応するかをわかりやすく説明されている事業者に対して、ある程度評価をさせていただきました。

最後に、「地域との協働、地域経済活性化への貢献」については、各社でそれほど差がないのではないかと印象を受けました。

以上のポイントに基づき、評価をさせていただきました。

#### 【委員長】

ありがとうございました。それでは、ご説明いただいた内容について、ご質問等がありますでしょうか。

(質問等なし)

それでは、次の方、説明をお願いします。

#### 【委員】

質が高い事業者が参加しているという印象があり、大きな欠点があるような事業者は見当たりませんでした。

提案書の作り方については、どこに重点を置いて表現をするかという点に関して各社それぞれ異なるかと思いますが、短文で記載してある内容についても、しっかりと配慮されているのであれば、信頼してよいのではないかと判断いたしました。

まず、「業務推進体制」についてですが、現場代理人や監理技術者の資質について評価する必要があると思いますが、資質のうち提案書の中に記載されている実績は採点表

のイ「配置技術者の能力等」において評価を付けられるので、それ以上に差をつける必要はないと感じました。

例えば、庁舎の実績や面積が少ないなどの評価については、既にイ「配置技術者の能力等」で評価されているので、質疑応答での現場代理人の印象や質問への答え方、監理技術者の知識といった点を自分なりに評価させていただきました。

各事業者は大手ゼネコンと思われますが、現場だけの対応ではなく本社や支店、各ワーキンググループといったサポートについて記載があり、非常に手慣れた提案書である印象を受けました。また、経験から、実際に提案のとおり実施しているといった点も認識しております。

近隣の対応についても、現場の担当者、地元会社、本社の対応部門で一体となって資料を作成し、説明会を行う共同性が整っていると考えております。

以上の理由により、「業務推進体制」についてはあまり差がつきませんでした。

次に「工事品質確保」についてですが、躯体の精度をいかに確保するのか、免震装置を含む施工手順、リスク管理についてしっかりと表現しているかを審査させていただきました。

それ以外にも色々な項目の記載があり、BIMを使用した管理や施工機械、独自システムなどの提案もあったので、積極的な提案があった事業者については評価をしてよいのではないかと感じました。逆に、アピールポイントが少ない事業者については基礎点からのプラス評価が少なくなりました。各社の独自の技術については私が認識している範囲で評価をさせていただきました。

次に「工程管理」についてですが、厳しい工程を守り施工する事業者と新しい手法を取り入れ工期を短縮しようとしている事業者に分かれたと思います。A社とC社が工期短縮の提案をしていましたが、それが単純に優れているということではなく、工期短縮については実現性があるのかどうかを考えた上で、評価ができる点については評価をいたしました。

次に「公衆災害対策」についてですが、長期間にわたる工事ですので、騒音振動等の近隣への影響を考えるとともに、このプロジェクトを受注する意気込みとしても交通量調査は実施してほしいという思いがあったので、交通量調査を実施していない事業者については若干差がついたと思います。

また、解体・施工の際の車両動線が近隣・歩行者動線に及ぼす影響について配慮している事業者は評価したいと思いました。

通行する道路については、府中街道通行時の配慮に加えて旧甲州街道を通行しない提案もあり、交通事情等も考えて提案しているため、評価に値するのではないかと感じました。逆に、府中街道通行時の配慮についてしか提案がない事業者については、少し評価が下がりました。

最後に「地域との協働」については、各社満遍なく提案がされておりました。市内企業の活用額については、金額に差はありましたが、別項目で定量的な評価をしているた

め、金額の多寡によるそれ以上の差を付けませんでした。あくまでも、市内企業活用額について、担保できるかという点について評価をさせていただきました。

また、プレゼンの際に質問をさせていただきましたが、JVの構成員に市内企業が含まれる事業者については、市内企業の構成員に対しても、JVの分配金が入ると思われるので、市内企業活用額として評価できるのではないかと思います。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございました。それでは、ご説明いただいた内容について、ご質問等はありませんでしょうか。

(質問等なし)

それでは、次の方、説明をお願いします。

**【委員】**

論点のみ、ご説明させていただきたいと思います。「公衆災害対策」についてです。市役所の来庁者と歩行者動線、工事車両動線の振り分け、考え方が重要であると考え、何社かに質問させていただきました。

まず、B社についてですが、歩行者動線、工事車両動線等について質問をしたところ、作業員の通勤経路について回答があり、回答者と認識の齟齬がありました。

技術提案書の記載内容についても、計画地西側の府中本町駅からの歩行者動線の記載はありましたが、計画地東側の府中駅からの歩行者動線については記載がなく、府中駅からの歩行者動線と工事車両の動線の重なりが明示されておりませんでした。

また、計画地東側の交通量について、府中駅からの歩行者が非常に多く、交通量も多いはずですが、低い数値となっており実態と乖離しているのではないかと感じました。

以上の視点から、B社については「業務推進体制」や「工物品質確保」についての提案については非常に良い提案で評価をしましたが、計画地東側の歩行者動線について意識があまりないのではないかと思います、「公衆災害対策」については低評価といたしました。

一方でC社については、歩行者動線についてわかりやすく図示されており、フェーズごとの工事車両動線と歩行者動線が錯綜することがない点が明確であり、評価いたしました。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございました。それでは、ご説明いただいた内容について、ご質問等はありませんでしょうか。

(質問等なし)

それでは、次の方、説明をお願いします。

#### 【委員】

私も皆さんと同様に各事業者総じて優秀であり、レベルは十分に高いと思っております。しかし、その中でもなるべく差がつくように採点をさせていただきました。

まず、「業務推進体制」につきましては、現場代理人や所長は対外的な顔になりますので、人とのコミュニケーション能力、臨機応変な対応ができるのかをみて採点させていただきました。

また、発注者としては工程管理の一方でコスト管理も重要です。コスト管理が不十分であると、発注者と受注者との間でトラブルになります。その点に関してしっかりとマネジメントをする体制が整っているC社・D社を高く評価しております。

次に「工事品質確保」についてですが、A社は工期に間に合わないためデジタルモックアップを使用するとのことでしたが、有孔パネルにつきましては、建物の重要な意匠であり、設計者が力を入れている点と考えられるので、そこを実物ではなくデジタルモックアップで検討するとしたA社を低い評価といたしました。モックアップをしっかりと作成するC社・D社を高い評価としております。

次に「工程管理」について気になった点は、A社とB社が契約前に資材を発注しているところです。受注者の責任で発注するとなればそれまでではありますが、発注者の承諾を得ずに資材を発注してまで、工期を短くするのははたして適切なのかという観点で、A社・B社については評価を低くさせていただきました。

次に「地域との協働、地域経済活性化への貢献」については、委員の皆さんがおっしゃるとおり、満遍なく取り組まれているため全社B評価としております。

最後の「市内企業活用額に関する提案内容の担保に関する提案」の中で、C社だけが市内企業活用額が非常に高かったため、市内の協力業者の選定について質問をしたところ、システムチックに点数をつけて選定するのではなく、人と人との付き合いの中で選定を行っている旨の回答がありましたが、そういった点も大切であると思い、評価を低くすることはしませんでした。JVの構成企業内の市内企業から協力業者に関する有益な情報が得やすいだろうという点でB社とC社の評価を高くしております。

また、D社をC評価とさせていただきましたが、D社のみ公募形式を採用しており、公募で協力業者が集まるのか疑問を感じたため、低く評価させていただきました。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。それでは、ご説明いただいた内容について、ご質問等はありませんでしょうか。

(質問等なし)

## 【委員】

それでは、私の採点について説明します。

全体的に見て非常に落札意欲の高い事業者が多く、A評価、B評価を中心に、一部C評価をしていますが、良い評価をしております。

まず、A社についてですが、「法人の実績・経営状況」の評価値が他の事業者に比べ低いようですが、内容についてはしっかりと記載がされており、「業務推進体制」においてはアフターサービスについての記述もありA評価をしております。

次に「工事品質確保」ですが、説明が非常に明確でわかりやすかったためA評価としております。

次に「工程管理」についてですが、工期短縮やクレーンを1機にすることにより外観上の威圧感を低下させるなどの提案がありました。置き構台の設置場所については質問もしましたが、説明者が正確に理解していないのではないかと感じました。

次に「公衆災害対策」についてですが、A評価としておりますが、しっかりと調査を行った上で提案をしており、その点を評価しました。

次に「地域との協働・連携」及び「市内企業活用額の担保」については、他社と同程度の提案が記載されており、B評価といたしました。

次にB社についてですが、「業務推進体制」について、基本的に問題はありませんでした。

次に「工事品質確保」ですが、大梁のユニット化、小梁のP C a化により、現場の騒音も抑えられるので、A評価としております。

次に「工程管理」については、工期の短縮については発注者には影響のない部分で消化されてしまったので、評価につながりませんでした。

次に「公衆災害対策」についてですが、記載内容に過不足はありませんでした。

次に「市内企業活用額の担保」についてですが、他の事業者と同程度の記載内容でした。

次にC社についてですが、「業務推進体制」について、他の事業者と同程度の記載内容でしたが、設計変更におけるコスト管理については明確に記載がありました。

次に「工事品質確保」についてですが、モックアップをしっかりと作成する記述は他の事業者にはありませんでした。

次に「公衆災害対策」についてですが、騒音対策の防音ネットをほぼ全面設置するという点を評価し、A評価としております。

次に「地域との協働・連携」についてですが、見学会などの記載もあり、B評価としております。

次に「市内企業活用額の担保」についてですが、発注予定企業の詳細なりリストが提案書には記載されておらず、事業者がどの程度、地元企業への発注を具体的に検討したのかの姿勢が感じられなかったためD評価としております。

次にD社についてですが、「業務推進体制」について、統括責任者である所長が工期の途中で交代することが気になりました。同じ人間が所長を続けることがリスクになるということが理解できませんでした。受注者にとっては都合が良いことかもしれませんが

が、発注者にとってはあまりメリットを感じられないためC評価としております。

次に「工事品質確保」についてですが、コンクリートの収縮防止や分割工法の提案があり、B評価としております。

次に「工程管理」については、OAフロアのロボット化やアシストスーツの使用については、実際にOAフロアを全面ロボット化することは考えにくく、評価にはつながりませんでした。

次に「公衆災害対策」についてですが、シミュレーションや調査を実施するなど妥当な提案内容であったと思います。

次に「地域との協働・連携」についてですが、地元店マップの作成や障害者施設の食品調達を通じた就労支援などの提案は良く調査されており、地域の事情を勘案していると思われました。また、日本建設業連合会の快適職場認定を取得するという積極性もありA評価としております。

次に「市内企業活用額の担保」についてですが、他の事業者と同程度のためB評価としております。

以上が私の評価の仕方になります。

何か質問等がありますでしょうか。特になければ、全般的なことなどについてご意見があればお願いします。

(質問・意見なし)

#### 【委員長】

それでは私から事務局に質問しますが、工「地域との協働、地域経済活性化への貢献」、(イ)「市内企業活用額に関する提案」について、B社、C社、D社は同額程度の提案額ですが、A社の提案額が他社に比べ低い理由は何かあるのでしょうか。

#### 【事務局】

B社・C社については市内企業とのJVのため、市内の下請企業に関する情報を幅広く把握していたものと考えます。また、D社については、市内での単独での工事実績があったため、ある程度の市内企業についての情報を持っていたのではないかと考えられます。

また、市内企業の活用額については違約金を設定するなど、妥当性を担保した金額を提案するように求めていることから、A社はより厳格に精査したことにより提案額が低かったものと捉えております。

#### 【委員長】

わかりました。他にご質問等がございますでしょうか。

(質問なし)

特に無いようですので、意見交換を受けましてご自身の採点について修正をされる方は、この場でお願ひします。修正が終わりましたら事務局で再集計し、最終の採点集計表を作成し、委員の皆様にご確認をさせていただき作業が残っておりますが、そちらの段階

に進んでよろしいでしょうか。

それでは、ご自身の採点を修正される場合は、プレゼン後の採点集計表に直接修正していただければと思います。事務局よろしいですか。

**【事務局】**

プレゼン後の採点集計表に直接、ご自身の採点結果を修正いただいて構いません。

**【委員長】**

それでは、採点集計表に直接、加筆・修正をお願いします。修正が終わりましたら、事務局までお願いします。5分程度で修正していただき、修正が終わった方から事務局に提出してください。

**【事務局】**

それでは、16時15分まで採点集計表を修正していただき、修正が終わった方は事務局にお申し付けください。

16時30分まで休憩・事務局集計とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、一時休会とさせていただきます。

(休憩・事務局集計・採点集計表の配布)

**【委員長】**

それでは、お手元に修正された採点集計表が配布されましたが、採点を修正された方は、修正結果が正しく反映されているか確認してください。今配布されたものが最終の採点集計表になりますので、誤って事務局が別の個所を修正してしまうこともあり得ますので、各委員におかれましては、ご自分の点数が正確に記載されているか今一度ご確認いただきたいと思います。

(誤り等なし)

それでは事務局から最終結果の報告をお願いします。

**【事務局】**

それでは、採点集計表をお配りさせていただき、委員の皆様にご確認をいただきましたので、各社の合計点を読み上げさせていただきます。A社が35.53点、B社が41.17点、C社が40.65点、D社が39.63点となっております。

点数の順位といたしましてはB社、C社、D社、A社の順となっております。

以上となります。委員長よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

集計結果は事務局の報告のとおりです。

何か質問、ご意見等はございますでしょうか。

(質問・意見なし)

特に無ければ、採点結果はこれで決定いたします。  
それでは、最終の採点集計表の点数を委員会として了承したものとします。  
ありがとうございました。それでは、次の議題について事務局よりお願いします。

**【事務局】**

それでは、議題3「答申書の作成について」説明いたします。

( \*事務局より資料説明 )

**【委員長】**

ただいま事務局から説明がありました議題4「答申書の作成について」、ご質問等がありましたらお願いします。

( 質問等なし )

**【委員長】**

それでは、本件につきましては、原案のとおり、答申書を作成していきたいと思えます。また、答申書の確認は委員長に一任いただきたいと思います。

続きまして、議題5「選定結果報告書の作成等について」になりますが、事務局よりお願いいたします。

**【事務局】**

それでは、議題5「選定結果報告書の作成等について」説明いたします。

( \*事務局より資料説明 )

**【委員長】**

ただいま説明のありました議題5「選定結果報告書の作成等について」、ご意見のある方はお願いいたします。

**【委員長】**

私から質問します。

選定結果報告書は、選定委員会の委員の氏名は記載されないのですか。

**【事務局】**

事務局案としては、委員会の構成は記載がございません。今、委員長よりご指摘いただきましたとおり、選定結果報告書にも委員氏名の記載があった方がよろしいかと思えますので、修正をさせていただければと思います。

以上です。

**【委員長】**

ご存じのとおり、本件は総合評価方式による一般競争入札であり、評価値と入札価格により総合評価値を算出し、この総合評価値が最も高い事業者が落札者となりますので、本日の委員会で一番評価の高かった事業者が落札するとは限りません。

そのため、選定結果報告書の13、14ページにある「総評」及び「項目別評価」の作成に当たっては、このことも配慮していただきたいと思っておりますのでよろしく願います。

ちなみに、事務局が原案をまとめ、各委員に送付されるのは15日くらいということでもよろしいでしょうか。

**【事務局】**

明日13日に開札を行い、正式に市として事業者を決定するのが15日となります。この結果を踏まえ原案を作成し、なるべく早めに委員の皆様へ送付させていただきたいと考えておりますが、作成に多少の時間をいただきたいと考えておりますので、15日に送付することは難しいと思っております。

**【委員長】**

わかりました。それでは、開札の結果を踏まえ、選定結果報告書の原案を事務局で作成次第、各委員にメールにて送付してください。各委員において、選定結果報告書の内容を確認し、必要に応じて加筆・修正をいただければと思います。

事務局に確認しますが、選定結果報告書は公開されるということでしょうか。

**【事務局】**

3月の市議会定例会に工事請負契約議案として上程し議決を経た後、3月下旬もしくは4月上旬にホームページに掲載する予定です。

**【委員長】**

わかりました。続きまして、「議題6 その他」について事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

2点、連絡事項がございます。1点目といたしましては、選定委員会の議事録の確認についてです。本日、第2回選定委員会の議事録につきましては確認していただきましたが、本日第3回の議事録につきましても、案が完成次第委員の皆様にお送りし、ご確認をいただく予定です。先ほどもご説明いたしました、議事録の公表につきましては、4月上旬を予定しております。

2点目といたしまして、選定結果報告書の確認についてです。先ほども議題に上がりましたが、事務局案ができましたら委員の皆様にお送りし、ご確認をいただく予定です。選定結果報告書は市議会への報告を予定していることから、委員の皆様が事前に内容をご確認いただく期間が短くなることが想定されます。お忙しい中恐縮ですがよろしく願いいたします。

以上です。

**【委員長】**

それではこれで「第3回府中市新庁舎建設施工者選定委員会」を終了したいと思います。  
事務局よろしいでしょうか。

**【事務局】**

それでは、府中市新庁舎建設施工者選定委員会が本日で終了するにあたり、事務局を  
代表いたしまして、前澤行政管理部次長より皆様にご挨拶申し上げます。

( \* 行政管理部次長挨拶 )

**【委員長】**

それでは、以上を持ちまして、府中市新庁舎建設施工者選定委員会を終了します。これ  
で散会することといたします。長時間にわたりお疲れさまでした。

以 上